

取組と目標に対する自己評価シート

伊賀市：自立支援・重度化防止

タイトル	地域ぐるみの高齢者支援の推進（地域包括ケアシステムの構築・活用）
------	----------------------------------

年度	2019（令和元）年度
----	-------------

前期（中間見直し）

実施内容	伊賀市高齢者輝きプラン（第5次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画）P38
自己評価結果	
課題と対応策	

後期（実績評価）

実施内容						
地域ケア会議の開催回数（地域包括支援センター）						
計画期	第6期			第7期		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値				40回	40回	40回
実績値	35回	31回	33回	37回	23回	
自己評価結果（△）						
<p>【効果】 厚生労働省が示す5つの機能のうち「個別課題解決機能」「ネットワーク構築機能」「地域課題発見機能」について、地域の支援者との協働によって果たすことができた。 なお、開催回数の減少については、高齢者虐待事案への対応件数の増加に加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議が開催できなかったことが要因である。</p>						
課題と対応策						
<p>【課題】 「地域づくり・資源開発機能」「政策形成機能」について、医療福祉政策課が開催する福祉施策調整会議の機能や当該会議の結果を踏まえた対応を強化する。</p> <p>【対応】 社会福祉法の改正を念頭に入れ、地域共生社会の実現のため、地域生活課題を抱える地域住民に対する支援体制の検討について引き続き積極的に会議を開催する。また、「地域づくり・資源開発機能」「政策形成機能」について、医療福祉政策課と協議の上、福祉施策調整会議の機能や当該会議の結果を踏まえた対応を強化する。</p>						